

一般質問 町政を問う

議会から国へ

—3つの意見書を提出—

なお、全文は瑞穂町ホームページに掲載してあります。

■消費税の増税は、徹底的な無駄の削減、成長戦略、低所得者等の負担軽減策の制度化、社会保障全体像の明示後に行う事を求める意見書（抜粋）

政府は「税と社会保障の一体改革」への必要な財源として消費税の増税案を示している。増税しようとするのであれば、初めに徹底した行政改革による無駄の削減や国会議員の定数や歳費の削減。次に、増税によって市場や国力が縮小・低迷を来すことのないように教育や研究開発などの人材育成部門や脱原発に向けた新エネルギー部門への特別減税策を明示し、国内外に我が国の成長戦略の方向性を示す。そして、消費増税の影響を最も受ける低所得者や震災により財産の大半を失った方々に対する負担軽減策を制度化する。最後に、消費税の増税分の用途を明確化する。この一連の流れが増税に向けてのプロセスであり、それらを実現させていく事が本来あるべき政治の役割である。

よって、瑞穂町議会は、政府に対し、消費税増税は徹底的な無駄の削減、成長戦略、低所得者対策への負担軽減策、社会保障全体像の明示後に行なうことを強く求める。

東京都西多摩郡瑞穂町議会

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、
農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長 宛

■地域猫（動物）の適正な管理・飼育を可能とする法制度の改正等を求める意見書（抜粋）

国は生態系の保持と動物による環境悪化の抑制、並びに地域猫（動物）を巡って住民の円滑な人間関係に支障を来させぬようにするための施策を講じるべきである。

よって、瑞穂町議会として、以下について条件が整い次第、速やかに実施することを求める。

- 1、地域猫（動物）の法令上の定義付け並びに明文化
- 2、動物愛護法と動物管理法の分離と改正
- 3、地域猫（動物）の管理、指導を行える人材を育成するための機構・機関の設置
- 4、国の定める地域猫（動物）飼育認定指導者制度の創設
- 5、地域猫（動物）の適正管理基準を定めたマニュアルの作成と公共機関、関係機関へ送付
- 6、地域猫（動物）の避妊・去勢手術費用の基本的諸費用にかかる料金設定の策定
- 7、地域猫（動物）の適正管理・飼育しようとする民間団体の支援育成

東京都西多摩郡瑞穂町議会

環境大臣 宛

■障害者総合福祉法（仮称）の早期制定を求める意見書（抜粋）

障害者福祉法（仮称）の確実な成立・施行を求め、国会および政府に対し以下のとおり要請する。

- 1、障害者総合福祉法（仮称）制度にあたり、推進会議総合福祉部会がとりまとめた「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言」を最大限尊重し、反映させる。
- 2、障害者総合福祉法（仮称）制度にあたり、制度を円滑に進めるための地方自治体の財源を十分に確保すること。

東京都西多摩郡瑞穂町議会

内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長 宛



元狭山ふるさと思い出館、 瑞穂第三小児童保育クラブの在り方について問う

石川 修 議員（自民新和会）

町長 今後も利用し続けたい

質問 元狭山ふるさと思い出館は、平成3年、町民の教養と生活文化の向上に寄与するため、設置された。しかし平成20年、第三小児童保育クラブへの入所希望者が多く、臨時に児童保育クラブとして利用を始め、現在に至っている。今後も利用者が増加傾向にある地区のため、新たな児童保育クラブの早期設置と、ふるさと思い出館を条例の設置目的に合致した施設に早期に戻すべきと思うが町長、教育長の所見を伺う。

町長 第三小学校区の児童クラブは年間を通じて需要があり、常に子供たちの姿が見える施設となっている。ふるさと思い出館二階を利用する児童は、一階図書館分室で、学年の隔てなく友達と本に親しんでいるなど、子供たちの思い出の場所になっており、ふるさと思い出館の名が示すとおり効果を上げていると思われる。
今後も、学校に近く、通いやすいふるさと思い出館を児童保育クラブ分室として利用し続けたい。



児童保育クラブがある元狭山ふるさと思い出館

議員名のあとの（ ）は、
会派の名称です。
質問文は、質問者本人が200文字以内で執筆した原文をそのまま掲載し、答弁は内容を要約して掲載しています。